

2021 年 7 月 20 日

Green Earth Institute 株式会社  
森田紙業株式会社

**With コロナにおける新しいアップサイクルの取組み**  
**オフィスのシュレッダー古紙を原料に**  
**サーキュラーバイオ™エタノール消毒ジェルの実現！**

Green Earth Institute 株式会社と森田紙業株式会社は、国連の「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」において定められた SDGs に資する活動として、これまでは廃棄されてきたシュレッダー古紙を有効活用し、廃棄物をアップサイクルする取り組みである「サーキュラーバイオ™エタノールプロジェクト」に挑戦して参りました。

この度、本プロジェクトに参加していただいた各企業が排出したシュレッダー古紙を原料とした、エタノール消毒ジェルが完成いたしましたのでお知らせします。

今回の「サーキュラーバイオ™エタノールプロジェクト」では、参加企業が排出したシュレッダー古紙を収集するところから取り組みを始め、前処理・糖化・エタノール発酵プロセスを経て医薬品原料並みの品質のバイオエタノールを製造、さらに指定医薬部外品の消毒ジェルとしてお使いいただけるようフォーミュレーションしております。消毒ジェルのフォーミュレーションには、十分な消毒効果のある 60vol%以上のサーキュラーバイオエタノールの他、新型コロナウイルスに有効な界面活性剤、保湿剤、抗炎症成分、天然香料が配合されており、With コロナにおける日常の手指消毒にお使いいただける製品に仕上がっています。

製造されたエタノール消毒ジェルは、シュレッダー古紙を排出した各企業が引き取り、各々が企画する SDGs 関連イベントで使用される他、各社内でも使用されることとなります。「廃棄物をアップサイクルして排出者のもとで活用する」この取り組みは、“サーキュラーエコノミー”を実践する取り組みであると同時に、バイオテクノロジーに支えられた“バイオエコノミー”を実践する取り組みであると言えます。

「サーキュラーバイオ™エタノールプロジェクト」第 1 弾の取り組みでは、以下の企業の皆様にご賛同いただき、プロジェクトに参加いただいております。

株式会社NTT スマイルエナジー様  
株式会社テックサプライ様  
株式会社三井住友銀行様  
双日株式会社様  
ホテル三日月グループ様  
みんな電力株式会社様  
ライフ&ワークデザイン株式会社様

ボトルデザインは、シュレッター古紙から発酵技術を経て消毒ジェルが作られていることを表現した、まさにサーキュラーバイオ™オリジナルデザインと、福祉実験ユニット・ヘラルポニーの参画で実現した環境・福祉融合デザインの2種類を用意しました。(写真参照)



この環境・福祉融合デザインには、障害のあるアーティストの方が描いた作品を起用しています。販売価格の一部がアーティストにライセンス料として還元されることで社会的な付加価値が循環する仕組みになっています。当デザインのディレクションは障害のあるアーティストが描くアート作品を軸にさまざまな事業を展開する福祉実験ユニット・ヘラルポニーの参画によって実現しました。環境問題だけでなく、福祉が抱える課題にも着手することが可能な取り組みとなっています。

私共は、それぞれに事業領域、活動領域の異なる企業体ではありますが、SDGsの達成を目指す姿勢は共通であると考えます。今回のプロジェクトは、異なった業種や団体がひとつのゴールに向かって進むことが出来ることの証左でもあると考えています。まだ小さな一歩ではありますが、引き続きSDGs達成に貢献する活動に積極的に取り組んでまいります。

以上

## <この取り組みが貢献する SDG s >

### 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう

「強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」

9-4: 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取り組みを行う。



### 12. つくる責任、つかう責任

「持続可能な生産消費形態を確保する」

12-2: 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

12-5: 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。



### 10. 人や国の不平等をなくそう

「各国内及び各国間の不平等を是正する」

10.2: 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

